

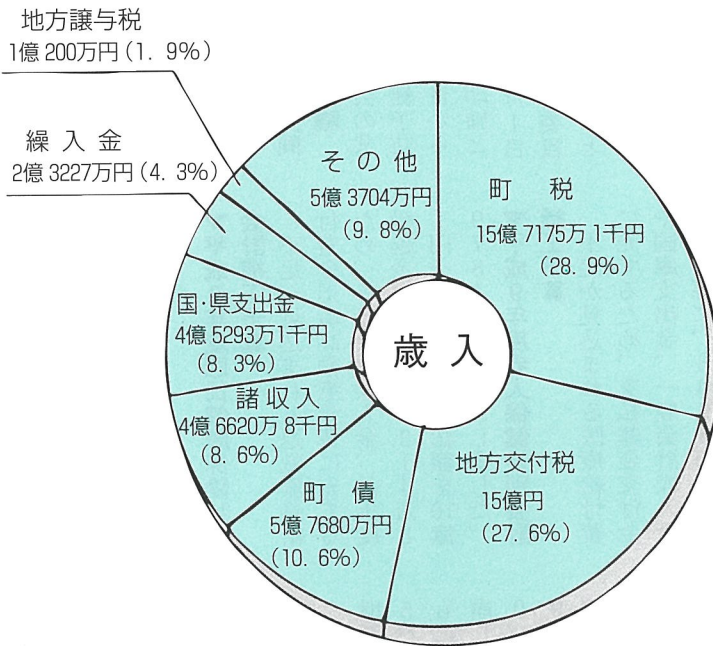
# 54億 3900万円でスタート

## —— 平成10年度一般会計予算 ——

3月定例町議会で平成10年度の予算審議が行われ、特別会計を含めた予算総額82億3123万円が可決されました。このうち一般会計予算は、昭和62年度から行ってきたふれあい坂田池公園、スポーツ広場整備事業の完了などで、前年度当初予算に比べ0・7%減の54億3900万円となりました。

今年度は、保健福祉センターの施設整備が前年度に引き続いて実施されるほか、将来の中学校移転改築計画に伴う基金の積立てなど、福祉や教育の充実をメイン事業に全町民が『健康で心かな豊かな生活』が送れるよう、第3次基本計画の5つの柱を軸に限られた財源が効率よく配分されました。

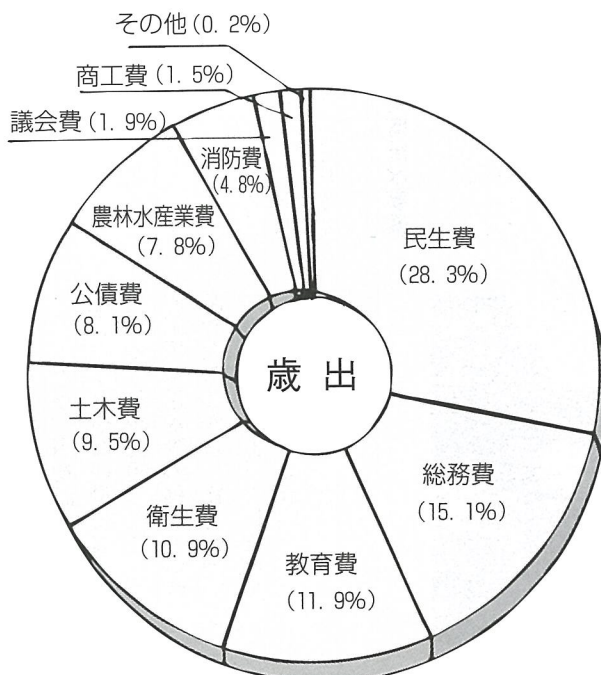
### 歳入



町税のうち、個人町民税は若干の所得の伸びは見込めるものの、特別減税の実施によって前年度よりも減額となっており、また、法人町民税も、景気の低迷状態が続いていることから、これも前年度対比で減額となっています。固定資産税については、評価替えによる負担調整や新築家屋の増加等によって若干の伸びを見込んでおりますが、町税全体では、景気の回復が遅れていることなどで前年度対比0・3%増の15億7175万1千円となっています。

町税とともに歳入の大きな柱となる地方交付税は、交付財源となる国税収入が景気の回復が遅れていることから大きな伸びが期待できない状況にあります。スポーツ広場やゴミ処理施設等の起債償還金等に係る事業費補正の増額等により、前年度に比べ4・9%増の15億円となりました。このほか、国・県支出金、財政調整基金繰入金、町債（借入金）、前年度繰越金などが各事業を推進するための貴重な財源として活用されることとなります。

### 歳出



高齢者対策としての保健福祉センターの施設整備などによって、民生費が前年度当初予算に比べて69・6%増と大幅に増え、予算総額の28・3%を占めているほか、議会費、総務費、公債費が若干の増となりました。

一方、土木費が、ふれあいスポーツ広場整備事業の完了によって前年度対比48・8%の減額予算となったほか、農林水産業費、衛生費、教育費、商工費などが前年度と比較して、減額予算となりました。